

総合計画 体系	事務事業名		農業用施設災害復旧事業(R3災)		所属部	建設部		所属課	農地整備課 (災害復興T)						
	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G		課長名	今岡 久							
		施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	高木 洋輔		電話番号	0854-40-1062						
			目的 対 象	市内の農家		意 図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。	(内線)	2474						
					基本事業				〈097〉農業基盤の整備・保全						
									目的 対 象	担い手農家をはじめとする農 家	意 図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向 上する。	予算 科目	会計 款 大事業 大事業名	
														0 1 5 5 0 1 業名	
令和3年過年度農業用施設災害復旧事業															

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R3 年度～ R7 年度)	
豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊、水路の破損などの被災を受けた農業用施設(農道・水路など)を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上かつ時間雨量20mm以上であることと、1箇所の工事費が40万円以上であること。 暫定補助率:65% → R3年度補助率:99.5%(激甚災害) 受益者負担 通常:2% → R3災:0%	
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<R3災> R4繰越 繰越分33箇所完了 R5現年 111箇所発注→33箇所完了、78箇所R6へ繰越	R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を求めないこととしている。(通常:2%→R3災:0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 発注率(年度末時点)	%	0	41	62	100
イ 完了箇所数(全体238箇所)	箇所	0	4	66	97
ウ 完了率(年度末時点)	%	0	2	29	70
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【R4繰越(R3災)】工事費:58,928千円 【R5現年(R3災)】工事費:292,428千円、補償金:3,545千円、事務費:6,359千円 計:302,332千円 合計:361,260千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円	1,959	280,713	352,406	1,101,003	
		地方債	千円	23,700	8,800	6,500	7,500	
		その他	千円					
		一般財源	千円	22,032	12,659	2,354	2,086	
	事業費計		千円	47,691	302,172	361,260	1,110,589	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農業用施設の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R6年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、農災以外にも治山・林道災、公共災など多様な災害が発生した。復旧には複数年かかる見込みであり、他の災害と調整を取りながら計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、管理者との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。